

No.	項目(大分類)	単元	手法	一般	中堅	幹部	総合	概要	学習目標
1	災害発生のメカニズム	地震	座	1				地震の発生メカニズムと、それによる物理的・社会的被害を理解し、自治体の対応を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>地震の発生メカニズムを説明できる</li> <li>地震による物理的被害、社会的被害を説明できる</li> <li>地震に対する自治体の対策を列挙し説明できる</li> </ul>
		津波	座		1		1	津波の発生メカニズムと、それによる物理的・社会的被害を理解し、自治体の対応を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>津波の発生メカニズムを説明できる</li> <li>津波による物理的被害、社会的被害を説明できる</li> <li>津波に対する自治体の対策を列挙し説明できる</li> </ul>
		風水害	座	1				洪水、土砂災害、高潮災害の発生メカニズムと、それによる被害や関連する防災情報を理解し、自治体の対応を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>豪雨災害の発生メカニズムと、自治体の対策を列挙し説明できる</li> <li>土砂災害の発生メカニズムと、自治体の対策を列挙し説明できる</li> <li>高潮災害の発生メカニズムと、自治体の対策を列挙し説明できる</li> </ul>
		竜巻	座				1	竜巻災害の発生メカニズムと、それによる被害や関連する防災情報を理解し、自治体の対応を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>竜巻災害の発生メカニズムを説明できる</li> <li>竜巻に関する気象情報を説明できる</li> <li>竜巻災害に対する、自治体の対策を列挙し説明できる</li> </ul>
2	災害の社会的影響	地震と建物・火災被害	座	1				地震動及び地震火災による建物被害を理解し、自治体の対応を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>地震動による被害の発生メカニズムを説明できる</li> <li>地震火災による被害の発生メカニズムを説明できる</li> <li>建物の耐震補強の有用性を説明できる</li> </ul>
		災害過程・被災者生活	座	1				災害発生後に、被災者が直面する様々な課題を時間軸に沿って学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害による影響を、被災者の生活の視点から説明できる</li> <li>災害過程の各段階の特徴を説明できる</li> <li>被災者と行政の間でおこりうる、災害過程の認識の違いを列挙し説明できる</li> </ul>
		災害過程・被災者生活	演	2				災害発生後に、被災者が直面する生活上の課題を具体的に学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害発生後の被災地の課題を被災者の視点から考え、表現できる。</li> <li>行政の対応を、被災者の視点から考え、表現できる</li> <li>被災地の課題や行政の対応を被災者の視点から考えることの意味を説明できる</li> </ul>
		都市巨大災害	座		1		1	都市型災害の特徴を事例を通じて理解するとともに、将来に懸念される首都圏直下型地震など都市巨大災害の影響を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>過去の都市型災害の教訓を説明できる</li> <li>都市で発生する巨大災害の特徴を説明できる</li> <li>将来に懸念される首都圏直下型地震の全体像を説明できる</li> </ul>
		地震災害史	座	1				過去の震災が歴史に与えた影響を学び、現代の社会で懸念される震災の様相を予測し、備える方法を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>わが国の過去の自然災害と、その当時の社会の対応を、事例を挙げて説明できる</li> <li>過去の災害事例に基づき、現在の災害対策の方針を考え、表現できるようにする</li> <li>災害の記録・伝承の必要性を説明できる</li> </ul>
3	災害関連法制	災害法体系	座	1				災害対策基本法・災害救助法などの構造や適用範囲を学び、災害対応にかかわる権限・財源の概要を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害関連法制の体系を説明できる</li> <li>災害対策基本法の概要を説明できる</li> <li>災害救助法の概要を説明できる</li> </ul>
		危機管理法	座			1		危機管理に関連する災害対策基本法などの法体系を学び、危機対応時の権限や財源を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>危機管理法の体系を説明できる</li> <li>危機管理対応の権限を説明できる</li> <li>危機管理対応の財源を説明できる</li> </ul>
		災害救助法	座		1		1	災害救助法適用事例を通じて、災害救助法の適用手続きや基準の理解を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害救助法の概要を説明できる</li> <li>災害救助法の適用手続きを説明できる</li> <li>災害救助法の特別基準を説明できる</li> </ul>
		復興法制	座			1		東日本大震災後に公布された東日本大震災復興基本法をはじめ復興に関係する法体系を理解し、最新の国の復興施策について学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>東日本大震災復興基本法の意義を説明できる</li> <li>我が国の復興に関する法体系を説明できる</li> <li>最新の国の復興施策を説明できる</li> </ul>
		危機管理施策の最新動向	座				1	最新の国の災害、危機管理施策について学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>最近の専門調査会等における報告等とその意義を、列挙して説明できる</li> <li>専門調査会等の報告を踏まえ、国と地方公共団体、国民の役割を説明できる</li> <li>専門調査会等の報告を踏まえ、自団体において行うべき施策を考えられるようになる</li> </ul>
4	防災計画	地域防災計画	座	1				地域防災計画の法的な位置づけを理解し、策定した計画を有効に活用するための方策と、地域防災計画を補完するプログラムを学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域防災計画の法的な位置づけを説明できる</li> <li>策定した地域防災計画を、有効に活用するための方策を説明できる</li> <li>地域防災計画を補完するプログラムを説明できる</li> </ul>
		BCP	座			1	1	公共機関におけるBCPの重要性を理解するとともに、その適切な策定・導入方法を、事例に基づき学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政機関におけるBCPの必要性を説明できる</li> <li>災害時の行政職員の労働安全管理のあり方について説明できる</li> <li>行政機関におけるBCP策定・導入時のポイントを列挙し説明できる</li> </ul>
5	予防・軽減	防災まちづくり	座			1		耐震化技術と室内安全対策とその被害軽減効果を理解するとともに、その普及促進の方策を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭内における安全対策とその促進策を、列挙し説明できる</li> <li>職場における安全対策とその促進策を、列挙し説明できる</li> <li>地域における安全対策とその促進策を、列挙し説明できる</li> </ul>
6	災害対応総論	初動期対応	座		1		1	初動期の対応と、その課題について学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>初動期の被災社会と災害対策における特徴を列挙し説明できる</li> <li>行政による初動期の対応で、課題となる点を列挙し説明できる</li> <li>行政による初動期におけるポイントを説明できる</li> </ul>
		応急期対応	座		1		1	応急期の対応と、その課題について学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>応急期の被災社会と災害対策における特徴を列挙し説明できる</li> <li>行政の応急期の課題を説明できる</li> <li>行政による応急期におけるポイントを説明できる</li> </ul>
		復旧・復興期対応	座		1		1	復旧・復興期の対応と、その課題について学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>応急期の被災社会と災害対策における特徴を列挙し説明できる</li> <li>行政の応急期の課題を説明できる</li> <li>行政による応急期におけるポイントを説明できる</li> </ul>
		都市復興	座			1		阪神淡路大震災や東日本大震災などの被災地における復興過程と様々な取り組みを学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>被災地の復興の過程を説明できる</li> <li>過去の災害における復興の取り組みを列挙し説明できる</li> <li>過去の災害における復興の取り組みでの課題を説明できる</li> </ul>
		災害対応事例 1	座	2				過去の災害時に対応業務に従事した行政職員の経験談にもとづき、具体的に災害対応の教訓を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>過去の災害での行政の対応状況を、具体的に説明できる</li> <li>過去の災害対応業務のなかで課題となった点を、具体的に例をあげて説明できる</li> <li>過去の災害対応業務からの教訓を、具体的に例をあげて説明できる</li> </ul>
		災害対応事例 2	座			1		災害事例をもとに、災害対応の課題と対応方法の考え方について理解を深めるとともに、事例をもとに意見交換を行い、災害対応のあり方を考える。あわせて、災害対応を記録することの重要性も学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>アフターアクションレポートの重要性を説明できる</li> <li>災害対応を行う際に課題となる点を、事例をあげて説明できる</li> <li>状況に応じて柔軟に的確な災害対応を行うためのポイントを説明できる</li> </ul>
7	災害対応各論	医療活動	座		1		1	災害現場における医療活動やその実施体制について学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の災害医療の体制を説明できる</li> <li>医療関係者と行政の防災担当部署との連携の課題を説明できる</li> <li>医療関係者と行政の防災担当部署が有効に連携するための方法を説明できる</li> </ul>
		自衛隊連携	座		1		1	行政と自衛隊の連携について学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時の自衛隊の活動の考え方を説明できる</li> <li>災害時の行政と自衛隊との連携のあり方や課題を説明できる</li> <li>平時からの行政と自衛隊との連携のあり方を説明できる</li> </ul>
		救援物資物流	座		1		1	救援物資の物流対策について、民間運送会社などとも連携した事例にもとづき学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>過去の災害時の救援物資の輸送状況を説明できる</li> <li>救援物資の物流対策における課題を説明できる</li> <li>今後の救援物資の物流対策の考え方を説明できる</li> </ul>
		ボランティア	座			1		NGO/NPOに対する理解を深め、災害支援における民間と行政の連携について学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>過去のNGO/NPOと行政との連携事例を説明できる</li> <li>災害時のNGO/NPOの特徴を説明できる</li> <li>今後のNGO/NPOと行政との連携の考え方を説明できる</li> </ul>
		広域連携	座		1		1	災害時の被災自治体の対応において、広域連携のあり方について学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>わが国における広域連携の形態を複数挙げて、その仕組みを説明できる</li> <li>広域連携を効果的にするための留意点を、受援側と支援側の視点から列挙できる</li> <li>広域連携を効果的に実施するために求められる事前対策を説明できる</li> </ul>
		企業連携	座	1				災害時の被災者支援における、行政と民間企業との連携について学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業との連携が重要な災害応急対策項目を複数挙げ、その内容を説明できる</li> <li>応急対策時に、企業と円滑に連携するための留意点を説明できる</li> <li>企業と応急対策時に効果的に連携するために必要な事前対策を説明できる</li> </ul>
		インフラ	座			1		電気・電話・ガス・水道など災害時のライフラインの復旧について学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種インフラの災害被害の特徴(復旧に要する時間等)を説明できる</li> <li>各種インフラの応急的なサービス供給対策の内容を説明できる</li> <li>各種インフラで行われる、応急復旧工事対策の内容を説明できる</li> </ul>
		交通計画	座			1		災害時における交通計画や道路啓開の仕方、都市構造について学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時における交通の特徴を説明できる</li> <li>災害時の交通計画の考え方を説明できる</li> <li>災害時の道路啓開の考え方を説明できる</li> </ul>
		避難行動	座			1		災害種別ごとに異なる避難行動のタイミングと、避難が困難な要援護者への対応について学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時における避難の実態を説明できる</li> <li>災害時の避難行動のあり方を説明できる</li> <li>要援護者の避難の考え方を説明できる</li> </ul>
		災害時要援護者	座		1		1	平常時および発災後の、災害時要援護者支援に関する基礎的な考え方と実務を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時の要援護者支援の基礎的な考え方を説明できる</li> <li>過去の災害における要援護者支援の課題を説明できる</li> <li>平常時の災害時要援護者支援対策を、事例を挙げて説明できる</li> </ul>

No.	項目(大分類)	単元	手法	一般	中堅	幹部	総合	概要	学習目標
		健康危機管理	座				1	被災住民の健康危機に対する行政の支援について学ぶ	・避難所での健康管理のために実施すべき対策を説明できる ・在宅の要介護者、高齢者等の健康のために必要な対策を説明できる ・災害発生時の施設入所者の健康のために必要な対策を説明できる
		こころのケア	座				1	災害発生初期の被災者に対する接し方及び災害対応業務を行う上でのマインドケアについて学ぶ	・被災者がこころのケアの心理的なストレスの内容を説明できる ・救済者や自治体職員に懸念される心理的なストレスの内容を説明できる ・「こころのケア」対策の内容を説明できる
8	災害情報	リスクコミュニケーション	座	1				人びとがリスクをどのように認識しているのかを理解し、効果的なリスクコミュニケーションの方法を学ぶ	・リスクコミュニケーションの意義を説明できる ・リスクに関する情報提供についての課題を説明できる ・リスクコミュニケーションを適切に行うためのポイントを説明できる
		広報	座			1	1	災害時の情報提供方法、報道機関対応の課題を学ぶ	・メディアの種類を列挙し、その特徴を説明できる ・住民の視点から、災害広報活動におけるポイントを説明できる ・記者会見時の留意事項を説明できる
		防災情報システム	座	1				庁内や関係機関、住民との情報共有や広報のための手段防災情報システムの効果について、アナログ手法の有効性も理解しながら、学ぶ	・情報共有の意義を説明できる ・庁内や関係機関との情報共有手法を説明できる ・住民との情報共有や広報手段を説明できる
		情報処理・情報共有	座		1		1	災害発生直後の被害予測技術、システム設計における業務分析の考え方を学ぶ	・災害直後における、被害の予測手法を説明できる ・情報処理の円滑化のための、業務分析の手法を説明できる ・災害対応における組織と情報処理のあり方について説明できる
		情報処理	演			2		災害発生時の具体的なテーマを設定し、初動から応急期における情報処理の考え方について学ぶ	・組織が情報処理を実施する目的を説明できる ・初動期・応急期における情報処理の考え方を説明できる
		防災施策の最新動向-台風・大雨・竜巻に関する情報活用	座	1				防災施策の最新動向として、最近の風水害の経験を踏まえ、最新の国による取り組み状況や今後の対策の方向性に関する検討状況などを学ぶ	・最近の防災気象情報(特別警報など)の種類と防災上の意味を説明できる ・竜巻に関する気象情報の特徴と活用するための考え方を説明できる ・気象情報を自治体が有効活用するための、気象官署等との連携方法を説明できる
9	マネジメント	危機管理総論	座	1				危機管理の基礎的な考え方と実務上のとらえ方を学ぶ	・危機管理の基礎的な考え方を説明できる ・行政における危機管理時の特徴を説明できる ・平時と危機管理時における行政組織の違いを説明できる
		理論	座			1	1	災害対応業務の標準化や、危機対応をする上で首長を補佐する職にある人が必要とする能力や、災害対策本部の活動サイクル(Planning P)について学ぶ	・災害対応業務の標準化の必要性を説明できる ・災害対応組織に求められる機能を列挙し、その内容を説明できる ・災害対策本部の活動サイクルを説明できる
		災害対応演習	演				2	危機発生時の具体的な課題をもとに、災害対応の考え方について学ぶ	・災害発生時の組織的な目標と対応方針を立案できる ・目標と対応方針を立案するための根拠を説明できる ・危機発生時に、組織的に対応するための方法を説明できる
		本部空間配置	演		2		2	災害対策本部のレイアウトの重要性、また適切なレイアウトについて、演習を交えて学ぶ	・災害対策本部各班の空間配置での設計方針を説明できる ・災害対策本部のレイアウトを見て、その良否を理由を挙げて解説できる ・与えられた条件のなかで、適切な本部レイアウトを考えられるようになる
		業務フロー整理	演				2	災害対応をプロジェクトマネジメントの枠組みで理解し、実効性の高いマニュアルを作成するためのツール(業務分析、およびタイムラインの概念)を学ぶ	・業務分析手法を説明できる ・タイムラインの概念を説明できる ・マニュアル作成ツールを実施できる
		目標管理	座		1			目標管理型災害対応の考え方やその具体的な内容について、過去の災害事例を踏まえ学ぶ	・組織的な災害対応を行う際に、目標を設定する重要性を説明できる ・適切な目標の内容を、事例を挙げながら、説明できる ・設定した目標を、組織的に管理する方法を説明できる
		対応検討	座			1		災害発生後の限られた情報の中で状況を推測し、対応方針、施策を検討する考え方の重要性を学ぶ	・災害時における被災地の目標を設定するプロセスを説明できる ・災害時における目標に従った対応方針を立案するプロセスを説明できる ・限られた情報のなかで、意思決定を行う際の留意点を説明できる
		対応検討演習	演			1		災害発生後の限られた情報の中で状況を推測し、対応方針、施策を検討する考え方を学ぶ	・災害時における被災地の目標を設定することができる ・災害時における目標に従った対応方針を立案できるようになる ・限られた情報のなかで、意思決定を行えるようになる
		トップマネジメント	座				1	トップの災害対応、危機管理に対する心得を学ぶ	・組織のトップのあり方を説明できる ・組織のトップとして、組織内で果たすべき職務と、その概要を説明できる ・組織のトップとして、対外的に果たすべき職務と、その概要を説明できる
		海外での災害マネジメント事例	座				1	米国を中心に海外における災害時の組織マネジメントについて理解を深め、日本の災害対応に適用できる部分について学ぶ	・多様な災害に対応するための、ICSの意義を説明できる ・ICSで必要とされている機能を列挙し、その内容を説明できる ・日本の災害対応システムの形態を、海外の事例と比較して解説できる
		イメージトレーニング	演				2	阪神・淡路大震災の事例を踏まえつつ、災害時の対応イメージを豊かにすることの重要性とその方法について、ゲーミング手法を活用して学ぶ	・災害時に起こった意思決定の状況を感じる ・災害時における多様な視点・価値観の必要性を説明する ・災害対応を題材としたゲーミング手法に参加する
		防災演習	演				10	実習を通じて、総合的な災害対応能力を学ぶ	・組織的に、情報を収集し、分析し、意思決定する際の留意点を具体的に説明できる ・本部組織内で、被災地の状況認識を共有化する際の留意点を具体的に説明できる ・本部組織を、状況に応じてマネジメントする際の留意点を具体的に説明できる

小計	16	17	7	46	
ガイダンス	1	1	1	1	
有明見学	*	1	1	1	初日最初の1コマ希望者のみ
振り返り	1			1	
閉校式	1	1	1	1	閉校式は30分程度で終了予定
<b>合計</b>	<b>19</b>	<b>20</b>	<b>10</b>	<b>50</b>	
割り当て可能なコマ数	19	20	10	50	
	一般	中堅	幹部	総合	